



2023 年 7 月 11 日
神戸国際大学 キリスト教センター通信
第 94 号

「その枝を張る樹とはなりぬ」



神戸国際大学オルガニスト ミリアム 伊藤 純子

キリスト教センターに中庭があることをご存じでしょうか。とても気持ちの良い小さなスペースですので、皆様ぜひ覗きにいらしてください。と、思う一方で、今はできるだけそっと静かにしておいてください、とも言いたいところです。

実は先日チャブレンに教えていただいたのですが、中庭の桜の木の枝に、鳥の巣を発見したのです。木の枝に鳥の巣がある光景など日常的と思われるかも知れません。ただ私にとっては鳥肌が立つほど感激する衝撃的な光景でした。

私が本学に着任した2006年ごろ、この桜の木は小さくて細くて、スコップが無くても手で抜けるのではないかというほどの弱々しさでした。キリスト教センター長によりますと、この場所にキリスト教センターが開所した当時、木は何も植わっておらず、今ある桜の木は小鳥の落とし物として芽生えたとのことでした。

年々成長する様子は見ていたものの、風で吹き飛びそうなあの細い枝が、鳥の巣の枝として選ばれて、小鳥たちを風雨などから守る存在となったことに、何とも言えない頼もしさと感動を覚えました。

とっさに私の脳裏に浮かんだ文言は、下記の聖書の箇所です。

「土に撒くときは、地上のどんな種より小さいが、撒くと、成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る。」(マルコによる福音書431-32)

これはイエスのたとえ話のひとつで、非常に小さな「からし種」を用いて「神の国」を表現している箇所です。クリスチャンであってもなくても、人としての生き方を示唆していると思います。つまり、私たちひとりひとりの中に撒かれた種は、どんなに小さくて無意味で役立たずと思ってしまうようなものでも、必ず結実し、成長していく糧となる、という示唆です。

日常の中で、心が折れて投げ出してしまう場面があっても、ほんのわずかに視点を変えてみれば、結果は大きく変わっていく。そう思うことによって、日々刻々、歩みを1ミリずつでも進めていこうと、背中を押されます。

一口メモ「讃美歌 234 番 A「昔主イエスの」は本学院創設者である八代斌助主教の愛唱歌です。下記にその讃美歌の歌詞を転記します。(作詩：由木 康)

- 1 昔主イエスの 撒きたまいし/いとも小さき いのちの種。
芽生え育ちて 地の果てまで/その枝を張る 樹とはなりぬ。
- 2 歴史のながれ ふるきものを/帰らぬ過去へ 押しやる間に、
主イエスの建てし 愛の国は、/民より民へ ひろがりゆく。
- 3 時代の風は 吹きたけりて/思想の波は 騒ぎたてど、
すべてのものを 越えてすすむ/主イエスの国は 永久に栄えん。
- 4 父なる神よ、み名によりて/世界の民を ひとつとなし、
地の果てまでも み国とする/約束をいま 果たしたまえ。

この歌をお好きであられた八代先生の、信仰や教育、生き方に関する、あたたかく熱く、力強い視点が伝わってきます。



ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教



A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り（カード）日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF
神戸国際大学キリスト教センター

